

他クラブ状況 函館RC 91.24% 函館東RC 94.05%  
 2月の平均 6位函館東 98.40% 20位函館北RC 95.93%  
 21位函館RC 95.81% 35位森RC 92.70%

## The Weekly Report of Hakodate North R.C.

通算第259号

例会場 函館拓銀ビル

1968~1969-4-23

第245回例会

例会日 毎週水曜日

函館北ロータリークラブ

12.30~13.30

本日のプログラム  
 卓話 医者 の 切腹  
 会員 水上美喜雄

### PARTICIPATE / 参加し敢行しよう! - 東ヶ崎RI、会長の指針 -

#### 日本のロータリー

我国のロータリークラブは、1920年(大正9年)10月20日、当時三井銀行の重役であつた米山梅吉氏が、シカゴの中央事務所から委任されて、初めて東京にこれを創立し、翌10年4月1日、世界で855番目のクラブとして加盟承認されました。その後太平洋戦争の結果、一時国際ロータリーの精神を堅持して会合につとめ、その真髄と組織を維持し、戦後国際ロータリーに復帰するや、益々発展、現在では、北は稚内、南は沖縄まで、クラブ数898、会員数43,368名に達し、なおすべての都市、すべての町にその理想の翼を広げる努力をつづけております。会員は地域内の理想にもえる堅実な実業家、専門職業人の中から定款により、1業種1人を選び、週1回のクラブ例会出席によつて、各種職業人の交友を通じて地域社会へのより多くの奉仕の機会を得ようとはかつて、おります。

#### 第244回例会記録 1969-4-16

- \* 司 会 深瀬会長      \* 齊 唱      それこそロータリー
- \* ゲ ス ト 阿部平三郎氏 函館厚生院
- \* ビ ッ タ ー 三田 譲君(滋賀県長浜RC、サンダル製造)  
 小松 清君(小樽南RC、保存食品製造)  
 福田哲郎君(幌南RC、新拓銀万代支店長高田会員後任)  
 函館RC 板垣雄治君他10名

函館東RC荒谷武四郎他12名

### 米 会長報告

1, 高田会員14日オオトリで、盛大な見送りの中元気に出札されました。

### 米 報 告

① 札幌RC 4月23日例会日は、17時半 於グランドホテル一階に変更

② 札幌南RC、4月25日の例会日は、18時、於北海道経済センターに変更

### 米 情報委員長 遠藤会員

阿部平三郎さんの前座10分程お話をと急な事で、兎に角早くおわり、阿部さんのお話をお受けしたいと思います。東ヶ崎RI会長がロータリーの友、(1月号参照)「世界奉仕に参加しよう!」と述べ、又日本は戦災でひどい目にあつたので、海外から助けてもらつた事が多かつたが、経済力も出来たし、これから進んで奉仕する側にまわる番だ。すでに日本の会員が資金を集めてタイの田舎に学校を建てたり、フィリッピンの病院に施設を贈つたり、こう云うことは大変うれしいことで、どしどしやつてもらいたいとも述べておられます。又第350地区世界社会奉仕委員長坂井直太郎先生は、具体的方法は、色々あるであろうが各クラブは、独自の計画を実行するか、または地区で行うにしてもRI事務局の「ライブラリー」を参考にする。クラブ単独の場合は予算をRIに通知して協力を求める。そうしないと相互クラブの要望が過大で実行不能の恐れがある。日本全体として、米山奨学会の如き組織を作り、独自にまたは「ライブラリー」の中から選定、相手国、援助国、援助額を検討して年次計画を決定する、などの腹案を持つておられます。

第355地区では1966年10月水戸年次大会にタイ国農民に学校再建に1万米ドルを寄贈、1967年の宇都宮年次大会で自家発電機寄贈、これは地区内クラブ会員が「クリスマス献金」として、1人千円を献金した結晶であります。1人僅か千円の浄財喜捨によつて、有意義な世界社会奉仕が出来ると思っています。

### 米 卓 話 社会福祉について 阿部平三郎氏

私は、話をする時間は短い方がよいですから、と会長さんにおききした所希望をかなえて頂きまして、有難とう御座居ます。

私の居ります所は、社会法人と申上げましてもお聞きになられた事がない方が多いと思います。国、地方団体、社会団体につく名前です。函館厚生院は中央病院、五稜郭病院、くるみ学園、永楽荘、高岡寮等の仕事をしております。社会福祉事業の沿革は、慈善事業から、社会事業そして福祉事業と変つて参りました。内容はどちらにしても困る人を助ける救済事業ですが昔は、慈善事業の時は、困る人がおつても国家は関与しない、篤志家がすればよい事で、大正の中頃より社会事業となり、困つておる人は、本人の責任でもあり国、地方団体もある程度責任がある、社会の人も協力すべきで、篤志家のみまかせるのは、おかしいと云う事になつて参りました。

戦後 アメリカの影響と戦争の後、敗戦と云う特殊事情もあり、困る人がおる事は、国の責任であると云う事になりました。公共団体、民間等の篤志家が救済事業をするとしても国も協力しなければ、ならなくなりました。

従つて名前は、社会福祉事業と変つて行つたのです。原則では国は、そう云う団体に対して、8割の負担をしなければならなくなりました。

対象者は、老人、子供、身体障害者、困窮者で、仕事上実施面では、直接の生活扶助が大きい仕事になり、もう一つ収容方式、児童の施設、老人ホーム等だんだん極めが細かくなつて参りました。

私が札幌に参りました折 労働組合に共同募金の件でお願いに廻つた事がありました。しかしどこでも口をそろえて、彼等はこう云うのです「国家でやるべきだ」私は、今、道路で困つておる人、となりに困つておる人がおる場合見て見ぬふりが出来るだろうか、募金はいらぬから妨害だけは、しないで下さいと云つて帰つた事がありました。しかし社会福祉事業と申ましても法律によつて動いておるためきめ細かい動きが出来ません。と同事に法律にしばられるのです。又社会も変化します。

急を用する場合動きがとれないのです、皆様もおわかりの様に役人は、冒険は

第246回例会

本日のプログラム

卓話 酒とお茶

北大名誉教授 村田喜一  
函館大学教授

ロータリーの誕生とその成長

今から63年前の1905年、その頃経済恐慌で人心の荒れずさんでいたアメリカ社会、特にシカゴの状態を憂えた、青年弁護士ポールP.ハリスが、奉仕の精神によつて人の和をはかることこそ、よりよい社会をつくりだす道であると考え、3人の友人と語つて2月23日、この理想を広く人々に呼びかけようと、才1回の会合を開いたが、ロータリークラブの誕生であります。ロータリーとは、会員が持ち回りで順番に、集会を各自の事務所で行うことから名付けられました。この理想は着実に成長し、現在145の国家および地域にひろめられ、クラブ数13557、会員数648000名に達し、さらに大きな発展を期待されております。

第245回例会記録

1969-5-23

米 司 会 深瀬会長 米  
米 ビジター 今井一郎君(東京浅草RC 生花販売)  
伊藤四郎君(石巻RC 鋼鉄船)  
福田哲郎君(幌南RC)  
函館RC 伊部政次郎君他12名  
函館東RC 飯田貞一君他7名

出来ない人達です。欧米諸国では、民間団体の社会福祉事業が多い。日本も欧米人のように福祉事業を民間の手で行つて行きたいものと思えます。その事に寄つて税金も多大な経費で消えてしまわず、全部が福祉事業に投入出来ると思ひます。

米 出席報告

本日の出席 会員43名 出席31名 欠席12名  
前回の出席 会員43名 出席41名 欠席2名 95.24%  
他クラブ状況 函館RC 94.78% 函館東RC 97.59%  
インターシテ ジェネラル フォーラム 提出議題  
(日時4月27日 函館北RC 提出議題)

1. クラブ奉仕部門討議  
会員推薦委員会の運営は如何にあるべきか
2. ロータリー拡大に関する部門討議  
各クラブではロータリー拡大のために部外者に対して適切な知識普及の努力をされていると思うが、どんな方法をとつておられるか 御教示願ひたい
3. 社会奉仕部門討議  
都市と農村の親睦の目的を以て実施され効果的であつた社会奉仕の例を承りたい。
4. 国際奉仕部門討議  
人口の激増に悩む後進国を援助するため会員が毎月幾何かの積立をして医療品、或いは農業用器具を贈る運動を地区ガバナーを通じて展開しては如何。
5. インターアクトクラブに関する部門討議
  - a) クラブ活動計画の限界をお伺ひしたい
  - b) I.C.とR.C.との関係の再認識
  - c) I.C.と校内の一般クラブ活動をどの様に調整すればよいか
  - d) 参加希望者は審査して入会すべきか否か
  - e) I.C.会員の脱落防止の対策如何